

## 注意事項

- ・ftサーバを管理対象とする場合、注意事項がありますので、各機種対応モジュール欄にある注意事項を参照ください。
- ・以下掲載しております構成以外はサポートしておりません。
- ・増設LANボードについてはサポートしておりません。
- ・注釈については、巻末を参照ください。

○動作確認済み、×動作未対応、△評価予定、▲評価中、ー対象外

装置 *1	ハードディスク コントローラ	バックアップ *2	BIOS/FWの アップデート *3	対応Ver.	機種対応モジュール
R320c-E4 *9 N8800-173Y,173L	内蔵SAS	○	×	5.1以降	<a href="#">DPM5.1(DPM51_52_017)</a> <a href="#">DPM5.2(DPM51_52_017)</a> <a href="#">注意事項</a> *4
R320c-M4 *9 N8800-174Y,174L	内蔵SAS	○	×	5.1以降	<a href="#">DPM5.1(DPM51_52_017)</a> <a href="#">DPM5.2(DPM51_52_017)</a> <a href="#">注意事項</a> *4
R320b-M4 N8800-154, 163,154L	内蔵SAS	○	×	5.1以降	<a href="#">DPM5.1(DPM51_52_008b)</a> <a href="#">DPM5.2(DPM51_52_008b)</a> <a href="#">注意事項</a> *4
R320a-E4 N8800-143, 145,147,155, 156,162,166, 168,155L	内蔵SAS	○	×	5.1以降	<a href="#">DPM5.1(DPM51_52_008b)</a> <a href="#">DPM5.2(DPM51_52_008b)</a>
R320a-M4 N8800-144, 146,148,157, 161,167	内蔵SAS	○	×		<a href="#">注意事項</a> *4
320Fd-LR N8800-122, 124,130,132, 134,140	内蔵SAS	○	×	5.1以降	<a href="#">DPM5.1(DPM51_52_004b)</a>
320Fd-LR N8800-128, 138	SANブート	×	×		<a href="#">DPM5.2(DPM51_52_004b)</a>
320Fd-MR N8800-123, 125,127,131, 133,135,137, 141,142	内蔵SAS	○	×		<a href="#">注意事項</a> *4
320Fd-MR N8800-129, 139	SANブート	×	×		

## 対応装置一覧 フルサーバ [2/2]

装置 *1	ハードディスク コントローラ	バックアップ *2	BIOS/FWの アップデート *3	対応Ver.	機種対応モジュール
320Fc-MR N8800-103, 107	内蔵SAS	×	×	4.1以降	
320Fb-L N8800-096, 110,116	内蔵SCSI	○	○		
320Fb-LR N8800-097, 111,117	内蔵SCSI	○	○	4.1以降	<a href="#">DPM4.1</a> <a href="#">注意事項 (DPM5.2以前の場合)</a>
320Fb-M N8800-098, 112,118	内蔵SCSI	○	○		*4
320Fb-MR N8800-099, 113,119	内蔵SCSI	○	○		
320Fa-L N8800-082	内蔵SCSI	○	○		
320Fa-LR N8800-083, 083A,083B	内蔵SCSI	○	○	4.1以降	<a href="#">DPM4.1</a> <a href="#">注意事項 (DPM5.2以前の場合)</a>
320Fa-M N8800-088	内蔵SCSI	○	○		*4
320Fa-MR N8800-089	内蔵SCSI	○	○		

## 注釈説明

- \*1: Wake On LAN が動作しない場合があります。動作しない場合は、手動で電源を ON してください。
- \*2: バックアップ関連機能として、リストア・ディスク構成チェック・ディスク複製 OS インストールも含まれます。
- \*3: 各装置用の BIOS、ファームウェア等のフロッピーディスクイメージで提供されているアップデートイメージをネットワーク経由で配信し、アップデートを行います。  
BIOS/FW のアップデートで配信したフロッピーディスクイメージが正常に動作するかどうかは BIOS/FW のアップデートツールの動作に依存します。  
そのため、クライアント上で処理を自動で進めるには、アップデートイメージ内のアップデートツールが以下に対応している必要があります。
  - ・アップデートツールがユーザの操作なしで実行可能であること
  - ・DOS が起動後、アップデートツールが自動実行されること
  - ・アップデートツール実行完了後、自動的にリブートすることただし、アップデートツールのつくりによっては正常に動作できない場合があるため、必ず事前評価を行い、問題がないか確認してください。
- \*4: ご利用バージョンに対応するモジュールをダウンロードし、モジュール同梱の手順書にしたがって適用してください。  
DeploymentManager Ver4.3 は“SigmaSystemCenter 1.3”に含まれるバージョンです。  
また、DeploymentManager Ver5.2 は“SigmaSystemCenter 2.1”に含まれるバージョンです。
- \*9: Wake On LAN がサポートされている LAN ポートを使用してください。  
詳細は対象装置のユーザーズガイドを参照ください。